

“学びに活かす” 実習プログラミングとは？ ～有意義なソーシャルワーク実習を行うために～

研修のねらい

社会福祉士実習指導者講習会修了者の実習指導力の向上を目的としています。

今回の研修では、前回に引き続き「実習プログラミング」をテーマとし、課題である「ソーシャルワークをどのように伝えていくのか？」という点に焦点をあてた内容になっています。

具体的には、①実習指導者講習会で学んだことを活かし、各施設で実際に使用している実習プログラムを検討します。②実習プログラム作成の手順やポイントを学びます。③模擬実習プログラムを作成してみます。

以上のように、「ソーシャルワーク実習」へつなげるプログラム作成の実際について、学びを深めたいと思います。また、実習指導者同士のネットワーク作りや情報交流の場としても位置づけています。

1. 日時 2015年5月17日(日) 9:45～16:30
2. 会場 大阪社会福祉指導センター4階 研修室3 (大阪府中央区中寺1-1-54)
(地下鉄「谷町六丁目」徒歩7分)
3. 主催 公益社団法人 大阪社会福祉士会
4. 受講要件 社会福祉士実習指導者講習会修了者
※当日、講習会テキスト・講義資料集・施設で使用している実習プログラムや関係資料等をご持参下さい(案でも結構です。)
5. 定員 50名
6. 受講費 会員：3,000円 非会員：5,000円
7. 申込期間 4月28日(金)18:00必着。
裏面の「申込書」に必要事項を記入しFAXで申し込んでください。
※申込締切日前でも定員となり次第締め切ります。
※郵送により結果をご連絡します。

8. プログラム

時間	内容
9:45～10:00	開会挨拶・オリエンテーション
10:00～12:00	①実習プログラミング演習(指導者講習会のふりかえり) ②実習プログラミング演習(実習プログラム作成方法) 講師：関西福祉科学大学 准教授 橋本有理子先生
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～16:20	③実習プログラミング演習(模擬プログラム作成)
16:20	まとめと連絡、閉会

9. 受講者名簿について

本研修は、実習指導者同士のネットワーク作りも1つの目的としています。

したがって、当日配布する受講者名簿には受講者番号、氏名、勤務先、社会福祉士会会員は支部名または都道府県名を掲載しますのであらかじめご了承ください。

※本研修は日本社会福祉士会実習指導者フォローアップ研修実習プログラミング論(中級編)プログラムに基づいて実施しています。

F A X 送信方向

F A X 番号 06-4304-2773

(お間違えないよう再確認を！)

社会福祉士実習指導者フォローアップ研修《受講申込書》

送付先：(公社)大阪社会福祉士会

FAX (06) 4304 - 2773

TEL (06) 4304-2772

法人名			
施設名			
施設の種別 * 該当種別を○で囲んでください。	■【フィールド・ソーシャルワーク系】 障害者地域生活支援事業・社会福祉協議会・福祉事務所・地域包括支援センター・独立型社会福祉士事務所・病院・その他() ■【レジデンシャル・ソーシャルワーク系】 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・老人デイサービスセンター・生活保護関連施設・障害者支援施設・児童養護施設・その他()		
所在地 連絡先	〒 電話 FAX		
ふりがな 受講者名		職種	
「社会福祉士実習指導者講習会」			
受講年度：平成 年度 主催団体：			
社会福祉士会：会員 非会員 (所属 支部 会員番号)			
実習指導の経験：有り(約 年) ・ なし			
※該当するほうを○で囲み、会員は所属と会員番号をご記入ください。			
備考 (車いすの使用、手話通訳等必要な方は、その旨ご記入ください)			

〈講座を申し込みされる方へ〉～個人情報の取り扱いについて～

ご提供いただきました個人情報につきましては、裏面にある利用、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営の為にのみ使用し、他の目的で使用したり、第三者へ提供することはありません。

(このまま送信してください)